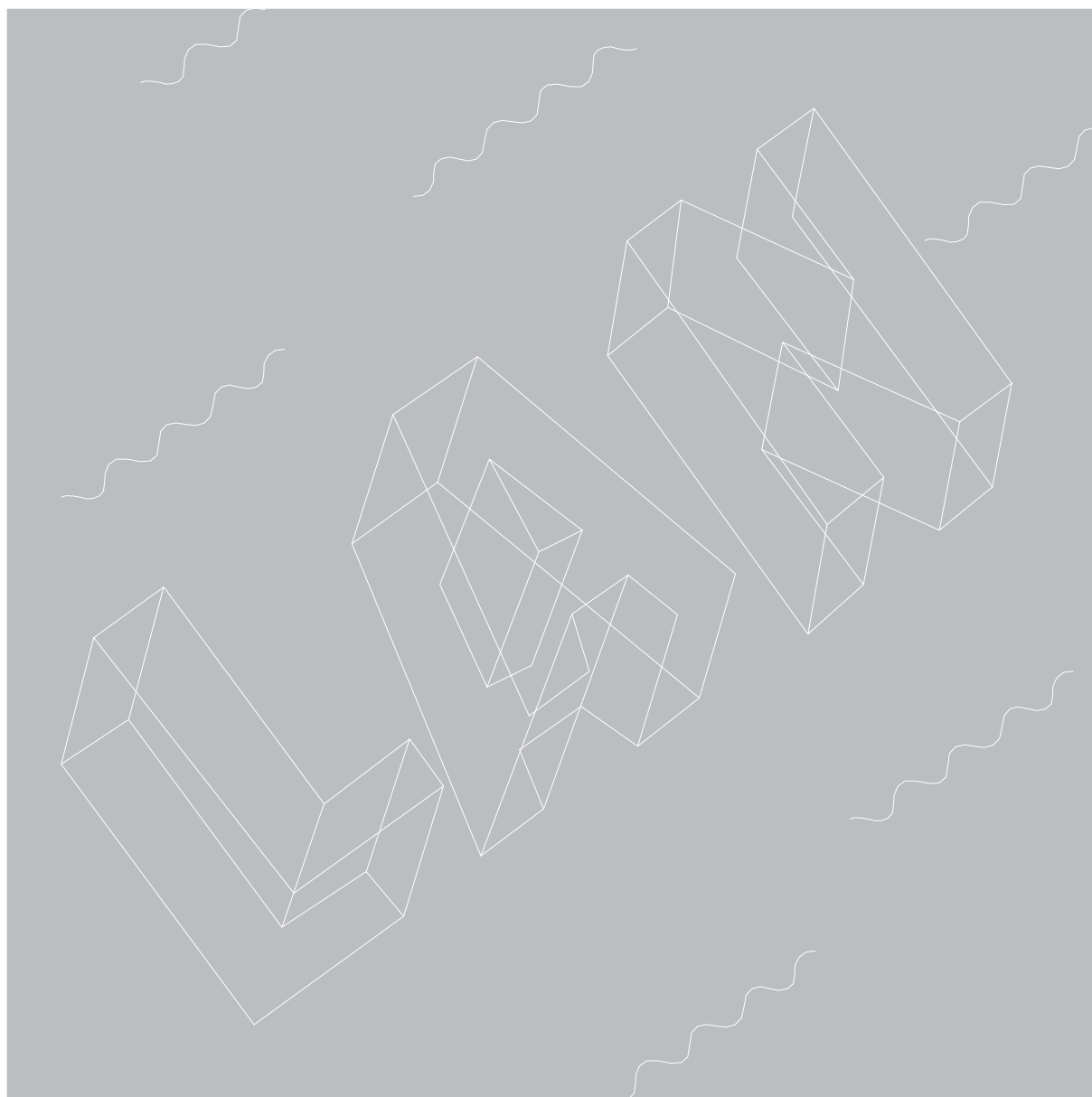
Panasonic®

取扱説明書
CLI 編

Switch-M5ePWR/M5eX

品番 PN27059／PN27050

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（3～5ページ）を必ずお読みください。**
- 対象機種名・品番一覧は次ページをご覧ください。

本取扱説明書は、以下の機種を対象としています。

品名	品番
Switch-M5ePWR	PN27059
Switch-M5eX	PN27050

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠注意

禁止

●交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・故障の原因となることがあります。

●雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電の原因となることがあります。

●この装置を分解・改造しない
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

●開口部やツイストペアポート、コンソールポートから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●直射日光の当たる場所や温度の高い場所に設置しない
内部温度が上がり、火災の原因となることがあります。

⚠注意

 禁止	●ツイストペアポートに10BASE-T/100BASE-TX以外の機器を接続しない 火災・感電・故障の原因となることがあります。 ●コンソールポートに本装置が対応する結線仕様以外のコンソールケーブルを接続しない（結線仕様につきましては、各機種の取扱説明書【メニュー編】付録Aをご確認ください） 火災・感電・故障の原因となることがあります。 ●この装置を火に入れない 爆発・火災の原因になることがあります。

⚠注意

 必ず守る	●付属の電源コード（交流100V仕様）を使う 感電・誤作動・故障の原因となることがあります。 ●必ずアース線を接続する 感電・誤作動・故障の原因となることがあります。 ●電源コードを電源ポートにゆるみ等がないよう、確実に接続する 感電や誤動作の原因となることがあります。 ●故障時はコンセントを抜く 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因となることがあります。 ●この装置を壁面に取り付ける場合は、本体及び接続ケーブルの重みにより落下しないように確実に取り付け・設置する けが・故障の原因となることがあります。 ●自己診断LED(STATUS)が橙点滅となった場合は、システム障害のためコンセントを抜く 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因となることがあります。 ●ツイストペアポート、コンソールポート、電源コード掛けブロックの取り扱いには注意のうえ取り扱う けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。

●商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。

●この装置の設置・移動する際は、電源コードをはずしてください。

●この装置を清掃する際は、電源コードをはずしてください。

●仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。

●この装置をマグネットで取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで製品がずれたり落下したりしないことをご確認ください。また、ケーブルを接続するときは、製品本体を押さえて接続してください。

●マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。記録内容消失のおそれがあります。

●この装置をOAデスクに取り付けた時、取り付けたまま、ずらさないでください。塗装面によってはキズがつくおそれがあります。

●RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグやSFP拡張スロット内部の金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。静電気により故障の原因となることがあります。

●コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。静電気により故障の原因となることがあります。

●落下などによる強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●コンソールポートにツイストペアケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。

●以下場所での保管・使用はしないでください。
（仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください）
— 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
— ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所（カーペットの上など）
— 直射日光が当たる場所
— 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
— 振動・衝撃が強い場所

●周囲の温度が0～50℃の場所でお使いください。

上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、保証いた

しかねますのでご注意ください。

●本装置の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり誤作動の原因となることがあります。

●装置同士を積み重ねる場合は、上下の機器との間隔を2cm以上空けてお使いください。

1．お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本製品の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
2．本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3．万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

※ 本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は，クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI－A

目次

1. CLIの仕様

1.1. コマンドの階層

コマンドの階層として以下の４つの階層があります。

① ユーザモード

② 特権モード

③ グローバルコンフィグレーションモード

④ インターフェースコンフィグレーションモード

図 1-1　コマンドの階層

1.2. 階層間の移動コマンド

有効コマンド

・有効コマンドはユーザモードから特権モードに移るコマンドです。
（プロンプト名は、ホスト名設定で設定された名称が表示されます。）

M5eX>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ユーザモード
M5eX> enable・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ユーザモード⇒特権モード
M5eX#・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・特権モード
M5eX# disable・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・特権モード⇒ユーザモード
M5eX>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ユーザモード

無効コマンド

・無効コマンドは特権モードからユーザモードに戻るコマンドです。

M5eX#・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・特権モード
M5eX# disable・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・特権モード⇒ユーザモード
M5eX>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ユーザモード

configure コマンド

・特権モードからグローバルコンフィグレーションモードに移るコマンドです。

M5eX#・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・特権モード
M5eX# configure・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・特権モード
⇒グローバルコンフィグレーションモード
M5eX(config)#・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・グローバルコンフィグレーションモード

interface コマンド

・グローバルコンフィグレーションモードからインターフェースコンフィグレーションモードに移るコマンドです。

M5eX(config)#・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・グローバルコンフィグレーションモード
M5eX(config)# interface vlan1・・・・・・・・・・・・グローバルコンフィグレーションモード
⇒インターフェースコンフィグレーション
モード(vlan1)
M5eX(config-if)# exit・・・・・・・・・・・・・・・・・・インターフェースコンフィグレーションモード
⇒グローバルコンフィグレーションモード
M5eX(config)# interface fastethernet0/1・・グローバルコンフィグレーションモード
⇒インターフェースコンフィグレーション
モード(interface1)
M5eX(config-if)#・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・インターフェースコンフィグレーションモード
M5eX(config)#・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・グローバルコンフィグレーションモード

exit コマンド

・1 つ前のモードに戻ります。

M5eX(config-if)# exit・・・・・・・・・・・・・・・・・・・インターフェースコンフィグレーションモード
⇒グローバルコンフィグレーションモード
M5eX(config)# exit・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・グローバルコンフィグレーションモード
⇒特権モード
M5eX# exit・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・特権モード⇒ユーザモード
M5eX>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ユーザモード

end コマンド

・　コンフィグレーションコマンドから特権モードに移るコマンドです。

M5eX(config-if)# end・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・インターフェースコンフィグレーションモード
⇒特権モード
M5eX(config)# end・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・グローバルコンフィグレーションモード
⇒特権モード

1.3. ユーザ支援コマンド

help/? コマンド

・ 各モードで ” help” または “?” を入力すると、そのモードで使用できる全てのコマンド名が参照できます。

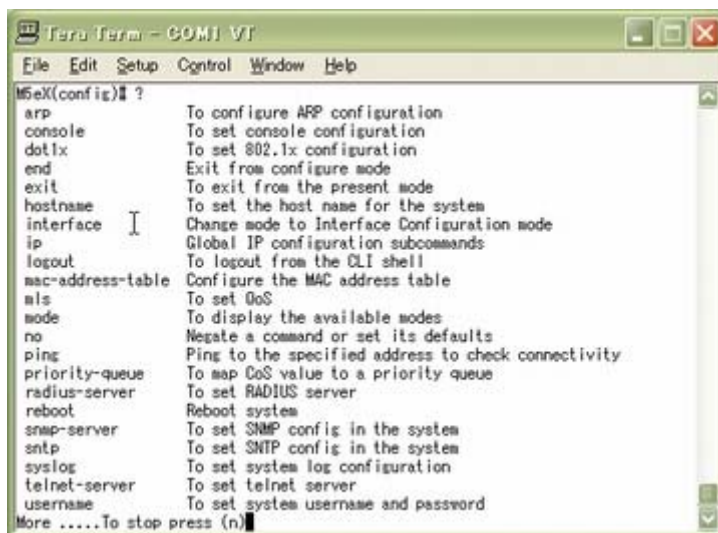



図 1-2 “?” コマンド

再入力支援コマンド

・ 上矢印キーを入力すると、直前のコマンドが表示されます。

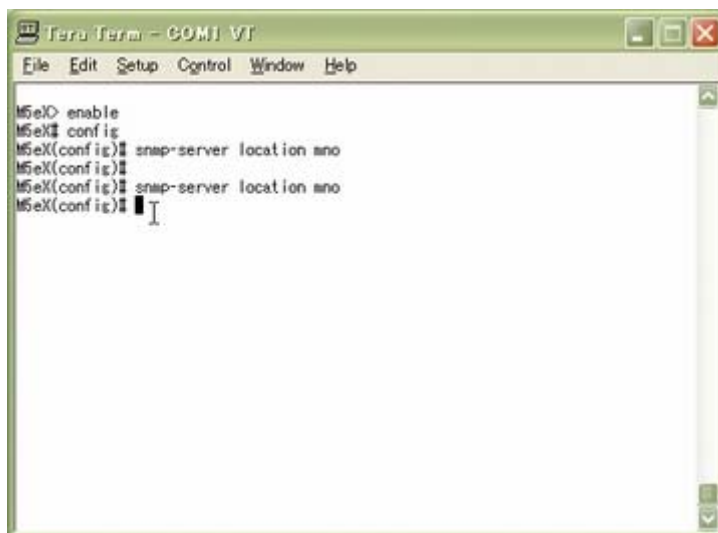



図 1-3 再入力支援

候補支援表示コマンド

・　コマンドの入力後に ? を入力すると、コマンドの候補が表示されます。

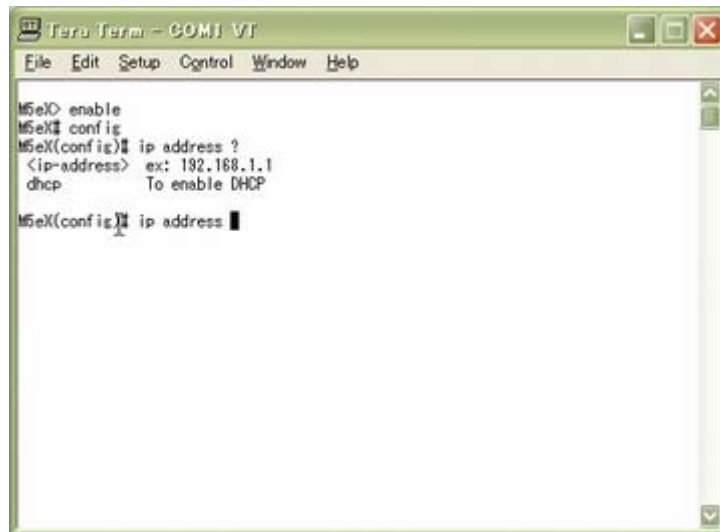



図 1-4　候補支援表示

コマンド入力の省略

　コマンドおよび引数の入力はそれぞれ一意に識別できる文字までを入力すればその後の文字の入力を省略することができます。

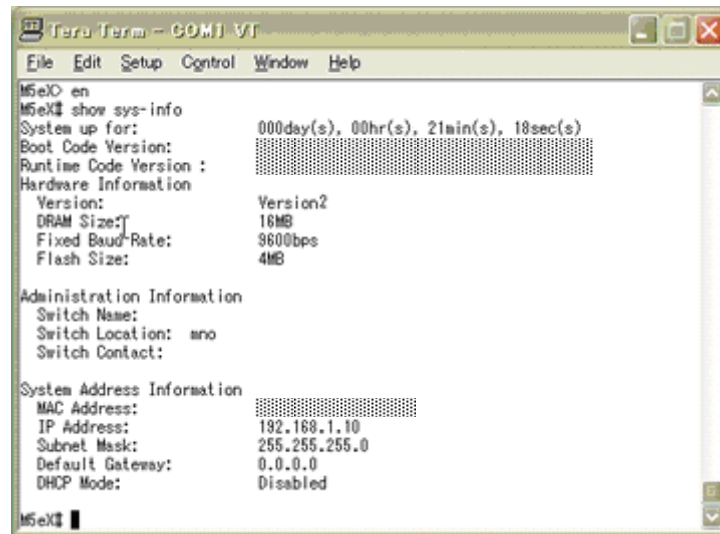
【入力省略例】

・enable　→　en

・show running-config　→　sh ru

【省略ができない例】

・co　→　configure および copy が候補にあるためエラーとなります。

　記述中の記号の意味は以下の通りとなります。

＜　＞　：　必須項目　－　必ず入力するようにしてください。

{　|　}　：　選択肢　－　いずれかを選択して入力してください。

[　]　：　オプション　－　必要に応じて入力してください。

2. 基本情報の表示

【特権モード】にて【show sys-info】を入力すると図 2-1 のような本機器の基本情報を確認することができます。

基本情報参照コマンド

特権モード	show sys-info

図 2-1　基本情報参照コマンド
(show sys-info)

3. 基本機能設定

3.1. 管理情報の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて管理者名、設置場所、連絡先を設定します。設定情報の参照は【特権モード】にて【show sys-info】でご確認ください。

ホスト名設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	hostname <hostname>

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no hostname

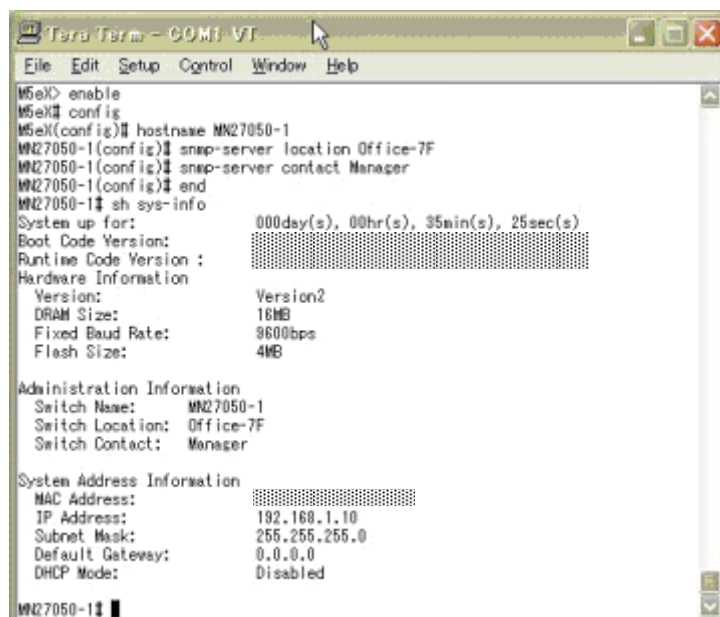
設置場所設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server location <server location>

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server location

連絡先設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server contact <server contact>

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server contact

基本情報参照コマンド

特権モード	show sys-info

ex.ホスト名を PoESW-1、設置場所を Office-2F、連絡先を Manager とする設定例

図 3-1　管理者名、設置場所、連絡先の設定と参照(show sys-info)

3.2. IPアドレスの設定

【インターフェースコンフィグレーションモード】にて本機器の IP アドレスに関する設定を行います。設定情報の参照は【特権モード】にて【show ip conf】でご確認ください。

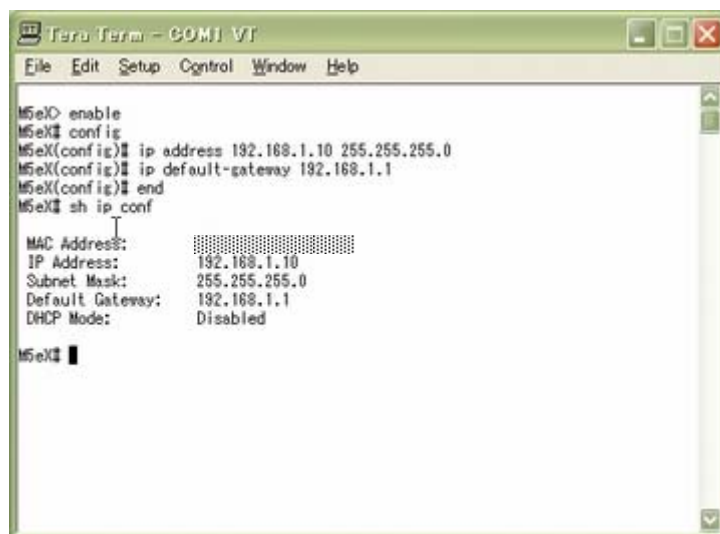
IP アドレス設定コマンド（デフォルトゲートウェイも一括設定可）

グローバルコンフィグレーションモード	ip address <ip-address> <mask>

デフォルトゲートウェイ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip default-gateway <ip-address>

DHCP クライアント設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip address dhcp

DHCP クライアント設定無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no ip address dhcp

IP アドレス参照コマンド

特権モード	show ip conf

ex1. IP アドレス:192.168.1.100、サブネットマスク:255.255.255.0、
デフォルトゲートウェイ：192.168.1.1 の設定例

図 3-2　IP アドレス設定と参照
(show ip conf)

ex2. DHCP クライアントの設定例

図 3-3　DHCP クライアント設定と IP アドレス設定参照
(show ip conf)

ご注意:　この項目を設定しなければSNMP管理機能とTelnetによるリモート接続が使用できませんので必ず設定を行ってください。設定項目が不明な場合はネットワーク管理者にご相談ください。IPアドレスはネットワーク上の他の装置と重複してはいけません。また、この項目には本装置を利用するサブネット上の他の装置と同様のサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを設定してください。

3.3. SNMPの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて SNMP エージェントとしての設定を行います。
設定情報の参照は【特権モード】にて【show snmp】でご確認ください。

SNMP 有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server agent

SNMP 無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server agent

SNMP 管理(読み込み専用、読み書き可能設定)コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server community <index> <community> {RO|RW} [<ip>]

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server community <index>

SNMP トラップ(タイプ、IP アドレス、コミュニティ名設定)コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server host <index> <ip> trap <community>

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server host <index>

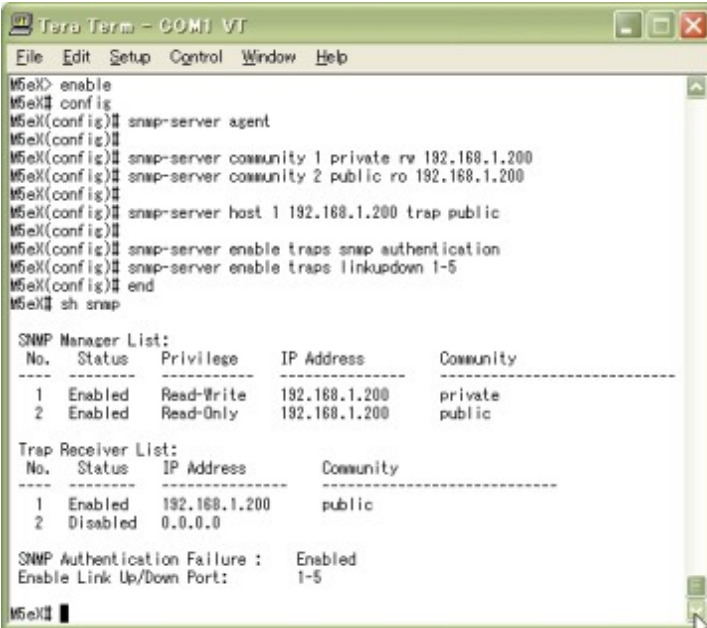
SNMP トラップ(authentication failure 設定)コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server enable traps snmp authentication

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server enable traps snmp authentication

SNMP トラップ(リンクダウンポート設定)コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server enable traps linkupdown <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server enable traps linkupdown <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5> }

SNMP 参照コマンド

特権モード	show snmp

ex1. SNMP エージェントの設定と SNMP マネージャ、Trap レシーバ、各種 Trap の設定例

図 3-4　SNMP 設定参照

(show snmp)

3.4. 各ポートの設定

【インターフェースコンフィグレーションモード】にて各ポートの状態表示、およびポートの設定を行います。設定情報の参照は、【特権モード】にて【show interface info】でご確認ください。

ポートステータス有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no shutdown

ポートステータス無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	shutdown

ポートモード設定コマンド

インターフェイスコンフィグレーションモード	speed-duplex { auto | {10|100}-half} | {10|100}-full} }

フローコントロール有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	flow-control

フローコントロール無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no flow-control

EAP パケット転送 有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	eap-forward

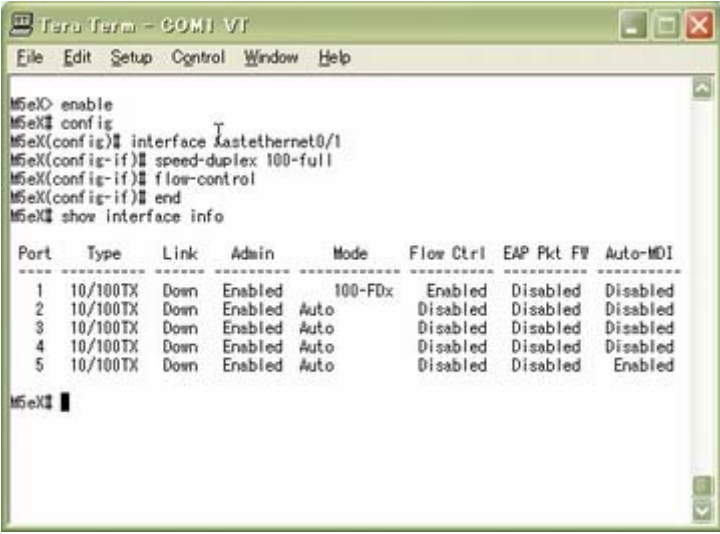
EAP パケット転送 無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no eap-forward

Auto MDI 有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	mdix auto

Auto MDI 無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no mdix auto

ポート情報参照コマンド

特権モード	show interface info

ポート名称参照コマンド

特権モード	show interface name

ex1. ポートの速度設定とフローコントロール設定例

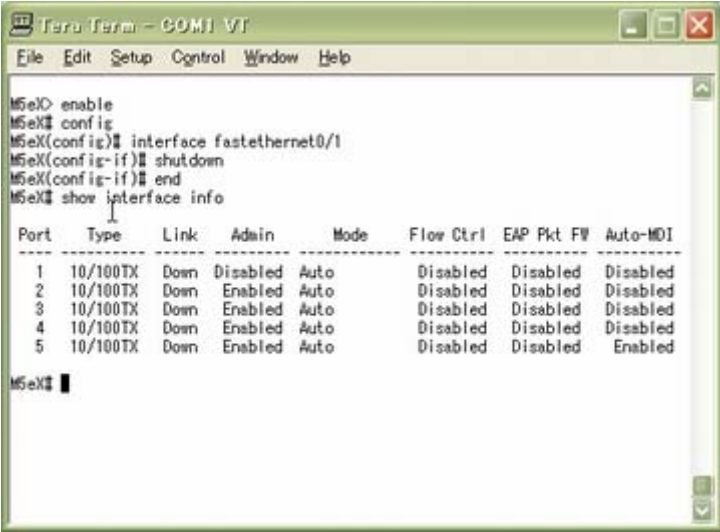



図 3-5　ポート情報参照①

(show interface info)

ex2. ポートステータス disable（1 番ポート）設定例

図 3-6　ポート情報参照②

(show interface info)

3.5. アクセス条件の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて設定・管理時に本機器にアクセスする際の諸設定を行います。

Console タイムアウト設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	console inactivity-timer <minute>

Console 設定参照コマンド

特権モード	show console

Telnet サーバタイムアウト設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	telnet-server inactivity-timer <minute>

Telnet サーバ設定有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	telnet-server enable

Telnet サーバ設定無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no telnet-server enable

Telnet アクセス制限設定有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	telnet-server access-limitation enable

Telnet アクセス制限設定無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no telnet-server access-limitation enable

Telnet アクセス許可機器設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	telnet-server <entry> <ip-address> <mask>

Telnet サーバ設定参照コマンド

特権モード	show telnet-server

※機能の詳細は付録 C をご覧ください。

IP Setup Interface 設定有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip setup interface

IP Setup Interface 設定無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip setup interface

IP Setup Interface 設定参照コマンド

特権モード	show ip setup interface

図 3-7　Console(show console)、Telnet サーバ (show telnet-server)の設定情報参照

ユーザ名、パスワード設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	username <new username>
※ユーザ名の入力後に古いパスワードおよび新しいパスワード(２回)を入力します。	

図 3-8　ユーザ名、パスワードの設定

RADIUS サーバ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	radius-server host ip <ip-address> [timeout <sec(s)>][retransmit <retries>] [key <string>]

RADIUS サーバ設定参照コマンド

特権モード	show radius-server

ex.RADIUS サーバの IP アドレス 192.168.1.1 、タイムアウト 10(秒)、再試行 3(回)、key が secret の設定例

図 3-9　RADIUS server の設定参照(show radius-server)

syslog 有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	syslog enable

syslog 無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no syslog enable

syslog サーバ facility 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	syslog facility <1-2> <0-7>

syslog サーバ header-info 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	syslog header-info <1-2> { IP | None | SysName }

syslog サーバ 有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	syslog server enable <1-2>

syslog サーバ 無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no syslog server enable <1-2>

syslog サーバ IP アドレス設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	syslog server-ip <1-2> <ip-address>

syslog 設定削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	syslog clear [server <1-2>]

syslog 設定参照コマンド

特権モード	show syslog [config]

ex.syslog server 1 の IP アドレス 192.168.1.10 、Facility 1 追加情報 IP の設定例

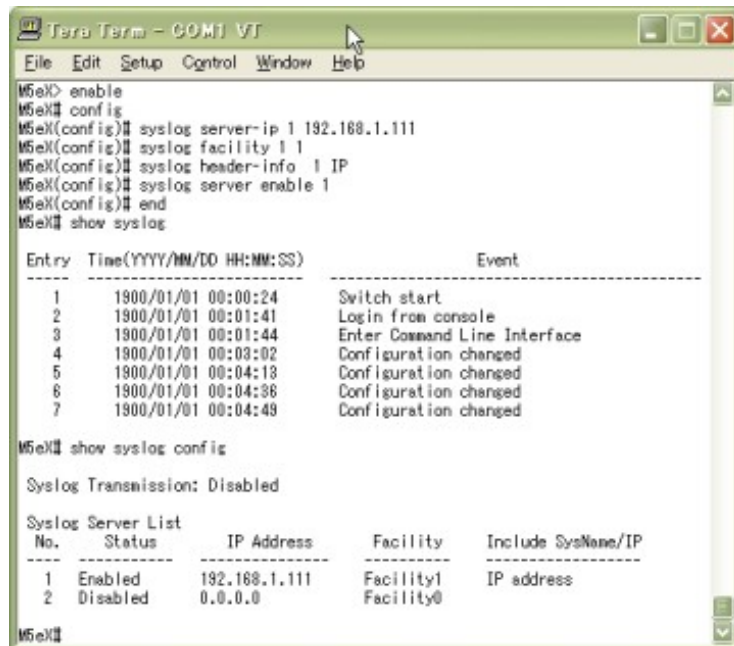



図 3-10 syslog(show syslog)および syslog サーバ(show syslog config)の設定参照

3.6. MACアドレステーブルの参照

【グローバルコンフィグレーションモード】にてフォワーディングデータベース(FDB: パケットの転送に必要な MAC アドレスが学習・記録されているリスト)の設定及び【特権モード】にて FDB の内容を表示します。また、静的な MAC アドレスの追加・削除を行えます。

エージングタイム設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	mac-address-table aging-time <seconds>

FDB エントリー(static)設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	mac-address-table static <MAC address> <interface> vlan <vlan-id>

FDB エントリー削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no mac-address-table static <MAC address> vlan <vlan-id>

MAC learning 有効コマンド

インターフェース コンフィグレーションモード	mac-learning

MAC learning 無効コマンド

インターフェース コンフィグレーションモード	no mac-learning

FDB(static)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table static

FDB(MAC 毎)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table mac

FDB(インターフェース毎)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table interface <interface>

FDB(VLAN 毎)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table vlan <vlan-id>

FDB(マルチキャスト)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table multicast

MAC learning 参照コマンド

特権モード	show mac-address-table mac-learning

エージングタイム参照コマンド

特権モード	show mac-address-table aging-time

図 3-11　MAC アドレステーブル参照

(show mac-address-table static)

(show mac-address-table mac)

(show mac-address-table interface <interface>)

(show mac-address-table vlan <vlan-id>)

(show mac-address-table multicast)

3.7. SNTPの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて SNTP による時刻同期の設定を行います。設定情報の参照は、【特権モード】にて【show sntp】でご確認ください。

SNTP server IP アドレス設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp server <ip-address>

SNTP 時間取得間隔設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp poll-interval <sec>

SNTP 夏季時間 enable 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp daylight-saving

SNTP 夏季時間 disable 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no sntp daylight-saving

SNTP タイムゾーン設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp timezone [<location>] NULL to see time zones

SNTP 設定情報参照コマンド

特権モード	show sntp

図 3-12　SNTP の設定情報参照（show sntp）

3.8. ARPの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて ARP テーブルの参照、および設定を行います。

ARP エージングタイム設定コマンド

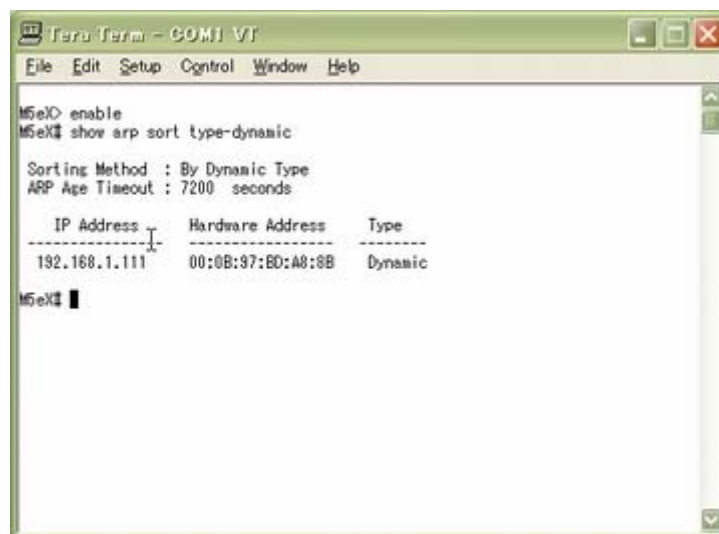
グローバルコンフィグレーションモード	arp timeout <value>

ARP(static)設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	arp <ip-address> <MAC address>

ARP(MAC 毎)参照コマンド

特権モード	show arp sort MAC

ARP(IP 毎)参照コマンド

特権モード	show arp sort IP

ARP(static)参照コマンド

特権モード	show arp sort type-static

ARP(dynamic)参照コマンド

特権モード	show arp sort type-dynamic

図 3-13　ARP テーブル参照（show arp sort type-dynamic）

4. 拡張機能設定

4.1. VLANの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】または【インターフェースコンフィグレーションモード】にて VLAN の設定を行います。

VLAN 作成設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	interface vlan<vlan-id>

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no interface vlan<vlan-id>

VLAN 名設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	name <name>

VLAN メンバー設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	member <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>

PVID 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	pvid <vlan-id>

VLANID 情報参照コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	getvlan

VLAN 設定情報参照コマンド

特権モード	show vlan {all	<vlan-id>}

VLAN ポート設定参照コマンド

特権モード	show vlan vlan-by-port

PVID 参照コマンド

特権モード	show vlan port

図 4-1　VLAN 設定参照（show vlan {all | <vlan-id>}）
（show vlan vlan-by-port）

4.2. QoS(Quality of Service)の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて QoS の設定を行います。基本情報の参照は、【特権モード】にて【show mls qos】で参照してください。

QoS enable 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	mls qos

QoS disable 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no mls qos

CoS－traffic class　マッピング設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	priority-queue cos-map <traffic class> <priority>

QoS 設定参照コマンド

特権モード	show mls qos

CoS－traffic class　マッピング参照コマンド

特権モード	show priority-queue cos-map

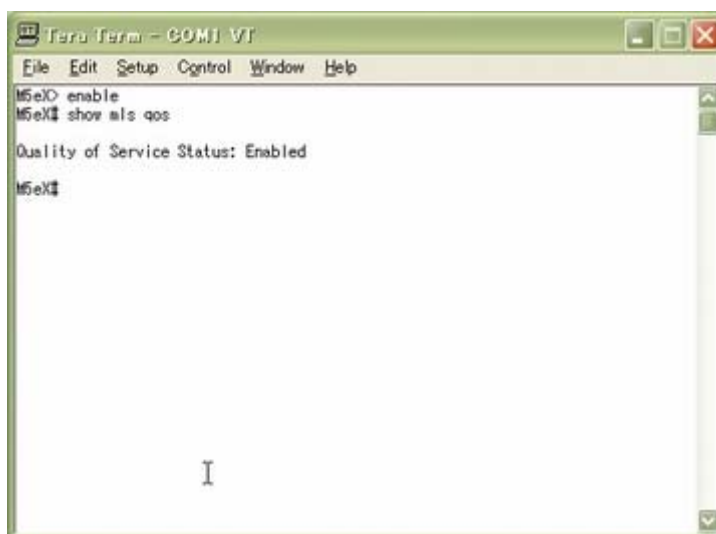



図 4-2　QoS 設定参照

(show mls qos、show priority-queue cos-map)

4.3. IEEE802.1Xポートベース認証機能の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】と【インタフェイスコンフィグレーションモード】にて IEEE802.1X の設定を行います。基本情報の参照は、【特権モード】にて【show dot1x <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>】で参照してください。

NAS ID 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	dot1x nas-id <NASID>

認証要求の際の動作設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1xport-control{auto|force-authorized|force-unauthorized}

定期的再認証有効設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x re-authentication

定期的再認証無効設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	no dot1x re-authentication

再認証取得間隔設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x timeout re-authperiod <seconds>

クライアントタイムアウト時間設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x timeout supp-timeout <seconds>

認証サーバタイムアウト時間設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x timeout server <seconds>

認証失敗時待機時間コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x timeout quiet-period <seconds>

認証再送信要求間隔設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x timeout tx-period <seconds>

認証最大再送信試行回数設コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x max-req <value>

再認証状態初期化設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x re-authenticate

認証状態初期設定コマンド

インタフェイスコンフィグレーションモード	dot1x init

認証情報設定参照コマンド

特権モード	show dot1x <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>

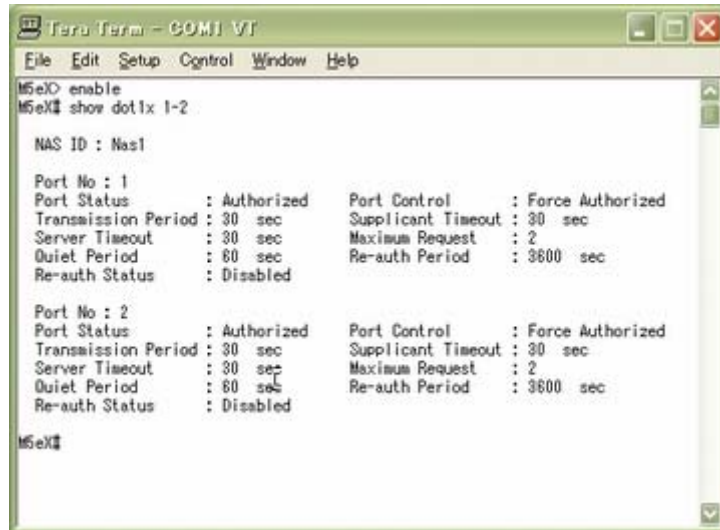



図 4-3　IEEE 802.1X 認証設定参照
(show dot1x 1-2)

4.4. PoE(給電機能)の設定

ご注意：PoE 機能は品名の末尾が‘PWR’である機種のみに搭載されています。

【インターフェースコンフィグレーションモード】にて PoE の設定を行います。

PoE ポート有効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no peth shutdown

PoE ポート無効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	peth shutdown

PoE ポート供給電力制限コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	peth limit <value>

PoE ポート優先順位設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	peth priority {critical | high | low}

PoE 設定参照コマンド

特権モード	show peth-port

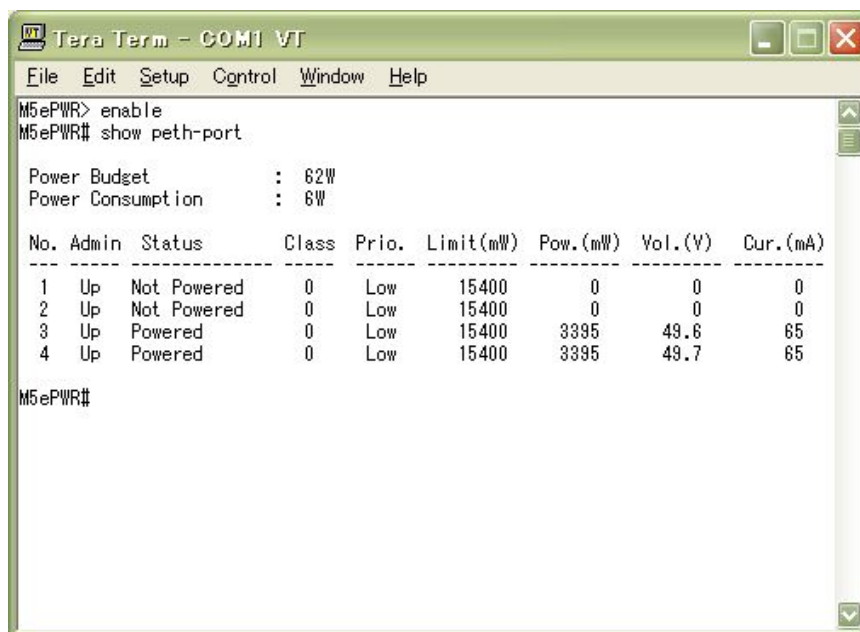
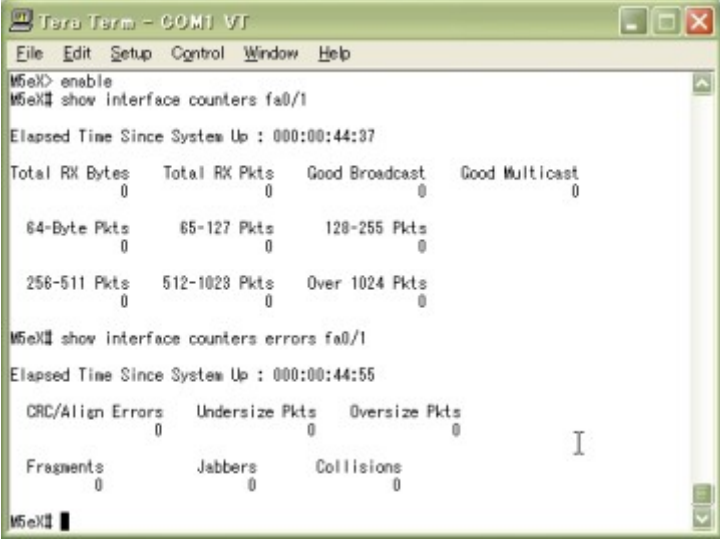



図 4-4　PoE ポート設定情報参照
(show peth-port)

5. 統計情報の表示

【特権モード】にて本装置の統計情報の参照を行います。

統計情報(traffic)参照コマンド

特権モード	show interface counters <interface port>

統計情報(error)参照コマンド

特権モード	show interface counters errors <interface port>

図 5-1　各種統計情報の参照（show interface counters fa0/1）
（show interface counters errors fa0/1）

6. バージョンアップおよび設定内容の保存・読込

【特権モード】にてファームウェアのバージョンアップおよび設定内容のアップロード/ダウンロードの実行を行います。

バージョンアップ設定コマンド

特権モード	copy tftp　<ip-address> <filename>　image

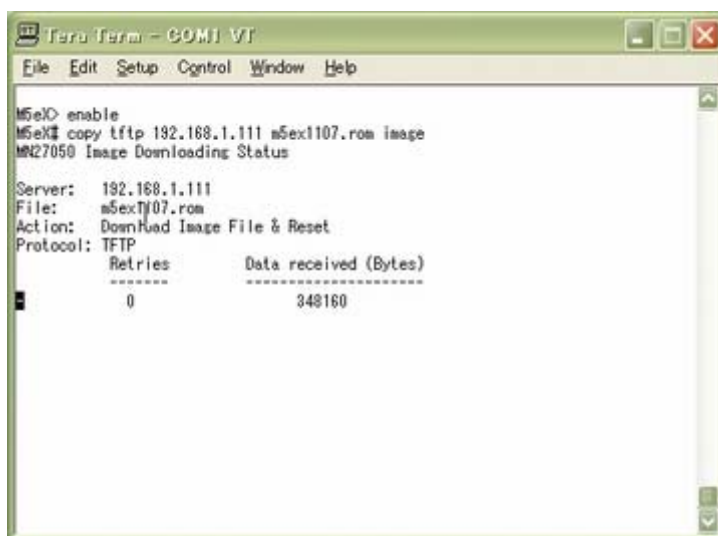



図 6-1　バージョンアップ中画面

（copy tftp　192.168.1.111 M5ex1107.rom　image）

設定内容アップロードコマンド

特権モード	copy running-config tftp <ip-address> <filename>

設定内容ダウンロードコマンド

特権モード	copy tftp <ip-address> <filename> running-config

7. 再起動

【特権モード】にて再起動の種類や再起動の実行を行います。

再起動コマンド

特権モード	Reboot ｛normal ｜ factory-default ｜ default-except-IP｝

また、【グローバルコンフィグレーションモード】にてタイマーを事前に設定することにより実行の指示後からカウントダウンを開始し、設定した時間後に再起動の実行をさせることも可能です。

再起動タイマー設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	reboot timer <time(sec)>

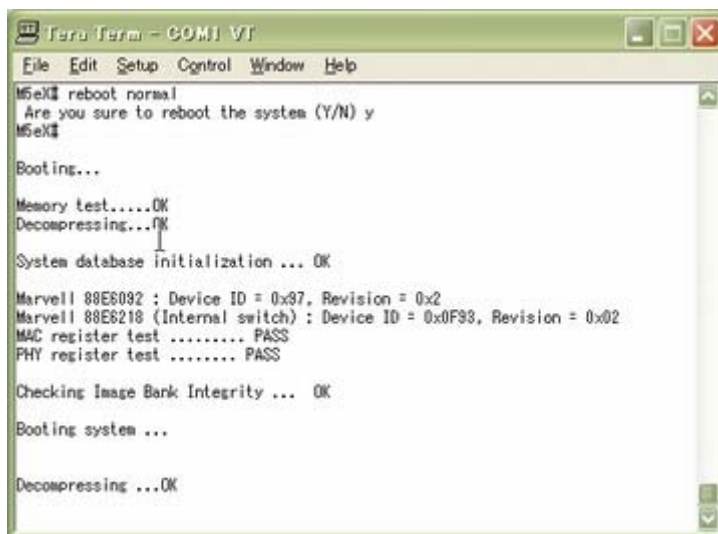
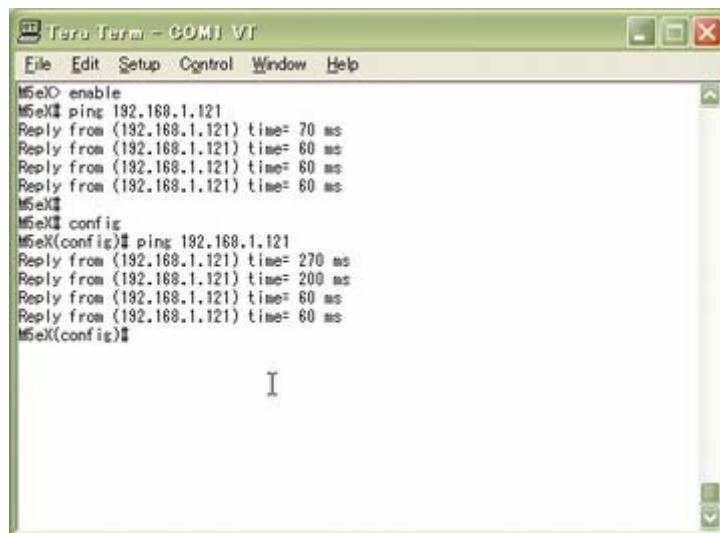



図 7-1　再起動中画面

8. Pingの実行

すべてのモードにて Ping の実行を行うことができます。

Ping コマンド

すべてのモード	ping <ip-address>

Ping(回数)コマンド

すべてのモード	ping <ip-address> [-n <count>]

Ping(タイムアウト)コマンド

すべてのモード	ping <ip-address> [-w <timeout(sec)>]

図 8-1　Ping の実行 (ping 192.168.1.10)

9. システムログの参照

【特権モード】にてシステムログの参照を行います。

システムログ参照コマンド

特権モード	show syslog

システムログクリアコマンド

グローバルコンフィグレーションモード	syslog clear

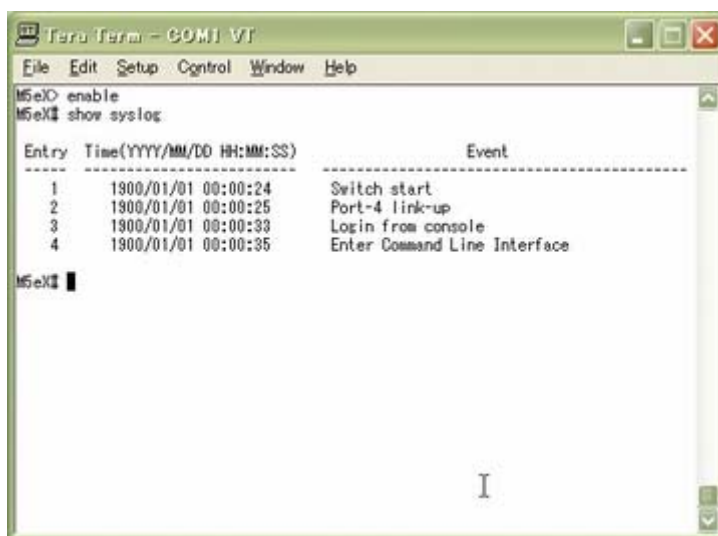
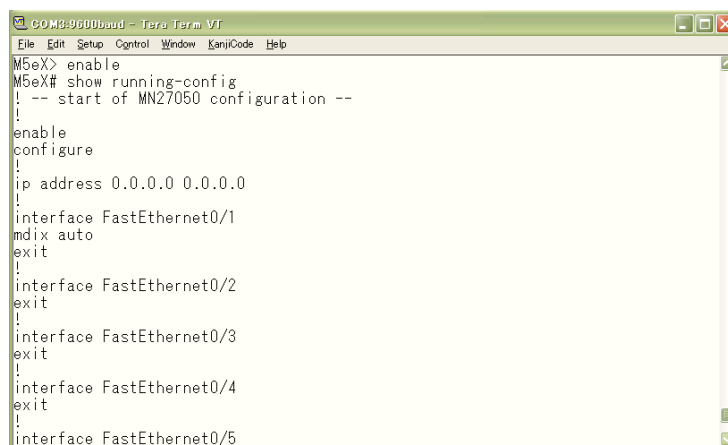



図 9-1　システムログ表示 (show sys-log)

10. 設定情報の参照

【特権モード】にて設定情報の参照を行います。

設定情報参照コマンド

特権モード	show running-config

```
COM3:9600baud - Tera Term VT
File Edit Setup Control Window KanjiCode Help
M5eX> enable
M5eX# show running-config
! -- start of MN27050 configuration --
!
enable
configure
!
ip address 0.0.0.0 0.0.0.0
!
interface FastEthernet0/1
mdix auto
exit
!
interface FastEthernet0/2
exit
!
interface FastEthernet0/3
exit
!
interface FastEthernet0/4
exit
!
interface FastEthernet0/5
```

図 10-1　設定情報の参照

付録A．仕様

お使いの機種の仕様を確認するには、それぞれの機種に対応した

『取扱説明書（メニュー編）』をご参照ください。

付録B. Windowsハイパーターミナルによる コンソールポート設定手順

　Windowsがインストールされた PCと本装置をコンソールケーブルで接続し、以下の手順でハイパーターミナルを起動します。
（Windows Vista以降では別途ターミナルエミュレータのインストールが必要です。）

① Windowsのタスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム(P)]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]を選択します。
② 「接続の設定」ウィンドウが現われますので、任意の名前（例えば Switch）を入力、アイコンを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
③ 「電話番号」ウィンドウが現われますので、「接続方法」の欄のプルダウンメニューをクリックし、“Com1” を選択後[OK]ボタンをクリックします。
ただし、ここではコンソールケーブルが Com1 に接続されているものとします。
④ 「COM1 のプロパティ」というウィンドウ内の「ビット/秒(B)」の欄でプルダウンメニューをクリックし、“9600” を選択します。
⑤ 「フロー制御(F)」の欄のプルダウンメニューをクリックし、“なし”を選択後[OK]ボタンをクリックします。
⑥ ハイパーターミナルのメインメニューの[ファイル(F)]をクリックし、[プロパティ(R)]を選択します。
⑦ 「<name>のプロパティ」（<name>は②で入力した名前）というウィンドウが現われます。そこで、ウィンドウ内上部にある“設定”をクリックして画面を切り替え、“エミュレーション(E)”の欄でプルダウンメニューをクリックするとリストが表示されますので、“VT100”を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
⑧ 取扱説明書（メニュー編）の4章に従って本装置の設定を行います。
⑨ 設定が終了したらハイパーターミナルのメインメニューの[ファイル(F)]をクリックし、[ハイパーターミナルの終了(X)]をクリックします。ターミナルを切断してもいいかどうかを聞いてきますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。そして、ハイパーターミナルの設定を保存するかどうかを聞いてきますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。
⑩ ハイパーターミナルのウィンドウに“<name>.ht”（<name>は②で入力した名前）というファイルが作成されます。

次回からは“<name>.ht”をダブルクリックしてハイパーターミナルを起動し、⑧の操作を行えば本装置の設定が可能となります。

付録C. IPアドレス簡単設定機能について

IPアドレス簡単設定機能を使用する際の注意点について説明します。

【動作確認済ソフトウェア】

パナソニック株式会社製 IP簡単設定ソフトウェア V3.01 / V4.00 / V4.24R00

パナソニックシステムネットワークス株式会社製 セットアップソフトウェア Ver3.10R00

【設定可能項目】

・IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ

・システム名

※パナソニックシステムネットワークス株式会社製ソフトウェアでのみ設定可能です。
ソフトウェア上では“カメラ名”と表示されます。

【制限事項】

・セキュリティ確保のため、電源投入時より20分間のみ設定変更が可能です。
ただし、IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/ユーザ名/パスワードの設定が工場出荷時状態の場合、時間の制限に関係なく設定が可能です。
※制限時間を過ぎても一覧には表示されますので、現在の設定を確認することができます。

・パナソニックシステムネットワークス株式会社製ソフトウェアの以下の機能は対応しておりませんので、使用することはできません。
- “カメラへのリンク”ボタン
- “自動設定機能”

※ネットワークカメラの商品情報は各メーカ様へご確認ください。

故障かな？と思われたら

故障かと思われた場合は、まず下記の項目に従って確認を行ってください。

◆LED 表示関連

■電源 LED(POWER)が点灯しない場合

●電源コードが外れていませんか？

→　電源コードが電源ポートにゆるみ等がないよう、確実に接続されているかを確認してください。

■リンク/送受信 LED(LINK/ACT.)が点灯しない場合

●ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？

●該当するポートに接続している機器はそれぞれの規格に準拠していますか？

●オートネゴシエーションで失敗している場合があります。

→　本装置のポート設定もしくは端末の設定を半二重に設定してみてください。

◆通信ができない場合

■全てのポートが通信できない、または通信が遅い場合

●機器の通信速度、通信モードが正しく設定されていますか？

→　通信モードを示す信号が適切に得られない場合は、半二重モードで動作します。
接続相手を半二重モードに切り替えてください。
接続対向機器を強制全二重に設定しないでください。

●本装置を接続しているバックボーンネットワークの帯域使用率が高すぎる、またはループが発生していませんか？

→　バックボーンネットワークから本装置を分離してみてください。

◆PoE 給電ができない場合（PoE 対応機種）

■PoE 給電 LED(PoE)が点灯しない場合

●ケーブルは適切なものを使用し、PoE 給電をサポートするポートに接続していますか？

●該当するポートに接続している PoE 対応機器は、IEEE802.3af 規格に準拠していますか？

アフターサービスについて

1. 保証書について

保証書は本装置に付属の取扱説明書（紙面）についています。必ず保証書の『お買い上げ日、販売店（会社名）』などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みの後大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

『故障かな？と思われたら』に従って確認をしていただき、なお異常がある場合は
次ページの『便利メモ』をご活用のうえ、下記の内容とともにお買上げの販売店へご依頼ください。

◆品名　　**◆品番**

◆製品シリアル番号（製品に貼付されている11桁の英数字）

◆ファームウェアバージョン（個装箱に貼付されている”Ver.”以下の番号）

◆異常の状況（できるだけ具体的にお伝えください）

●保証期間中は：

保証書の規定に従い修理をさせていただきます。
お買い上げの販売店まで製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは：

診断して修理できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
お買い上げの販売店にご相談ください。

3. アフターサービス・商品に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。

パナソニックESネットワークス株式会社

TEL 03-6402-5301 / FAX 03-6402-5304

4. ご購入後の技術的なお問い合わせ

■ご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。

IP電話（050番号）からはご利用いただけません。お近くの弊社各営業部にお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-312-712 受付 9:30～12:00／13:00～17:00
(土・日・祝日、および弊社休日を除く)

お問い合わせの前に、弊社ホームページにて、サポート内容をご確認ください。
URL: http://panasonic.co.jp/es/pesnw/

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

<table>
<tr><td rowspan="2">お買い上げ日</td><td colspan="11" rowspan="2">年　　月　　日</td><td>品名</td><td></td></tr>
<tr><td>品番</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ファームウェア
バージョン(※)</td><td colspan="4">Boot Code</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td colspan="4">Runtime Code</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">シリアル番号</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="13">(製品に貼付されている 11 桁の英数字)</td></tr>
<tr><td>販売店
または
販売会社名</td><td colspan="13">電話（　　　）　　　－</td></tr>
<tr><td>お客様
ご相談窓口</td><td colspan="13">電話（　　　）　　　－</td></tr>
</table>

（※ 確認画面はメニュー編 4.5 項を参照）

パナソニック ES ネットワークス株式会社
〒105-0021　東京都港区東新橋 2 丁目 12 番 7 号　住友東新橋ビル 2 号館 4 階
TEL 03-6402-5301　/　FAX 03-6402-5304
URL: http://panasonic.co.jp/es/pesnw/

P0112-0